

第5学年2組 社会科学学習指導案

指導者 学級担任 山本 千晶
栄養教諭 河住佳世子

1 単元名 これからの食料生産とわたしたち

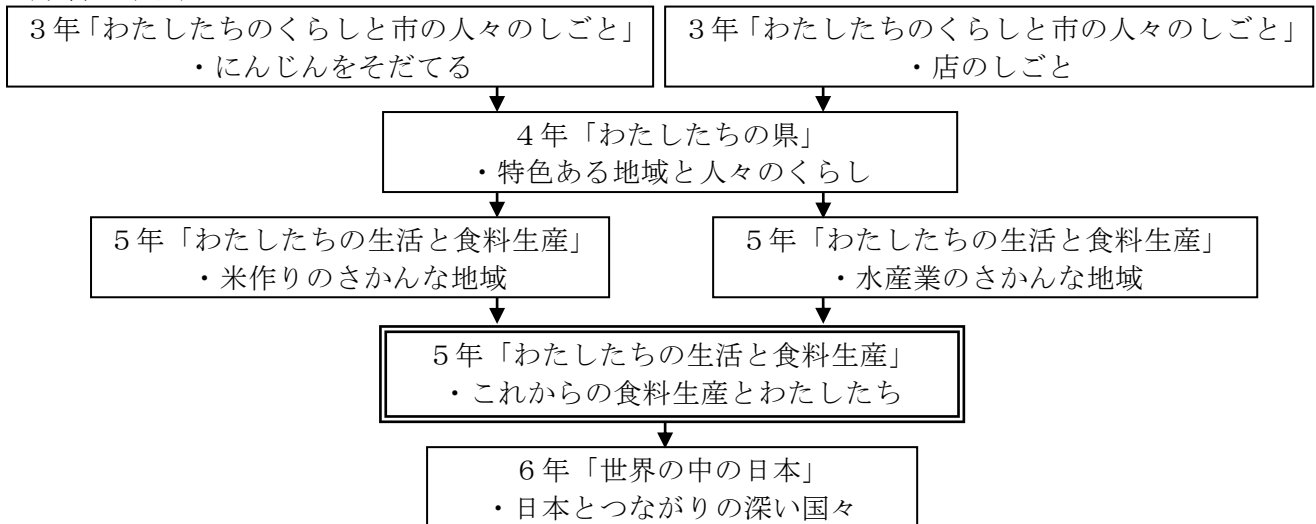
2 単元について

本単元は、学習指導要領第5学年の「内容（2）のア、ウ」を受けたものである。我が国の食料生産に関する学習全体のまとめにあたる。本単元では、国民の食生活を支える主な食料は国内の各地で生産されたものだけでなく、外国からの輸入に依存しているものもあることを、地図帳や統計資料などを活用して調べる活動を行う。さらに、主な食料の自給率や主な輸入先などを取り上げ、我が国の食料生産の現状を考えることができるようにする。また、農業、水産業に携わる人々による生産を高めるための様々な工夫や努力を調べる活動を行い、国民の食生活は様々な食料生産によって支えられていることを具体的に考えられるようにする。

児童は、これまでの単元で「米づくりのさかんな地域」と「水産業のさかんな地域」で具体的な事例を通して我が国の食料生産の様子や特色を学習してきた。これらの学習を通して、米の生産や水産業が国民の食生活を支えていることや、従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについても理解している。また、米や漁業の生産量の減少とそれに伴う輸入量の増加や消費量の減少、米作りや漁業の従事者の減少などの問題点についても学んでいる。そこで本単元では、生産者と消費者のつながりの大切さを理解し、これからの食料生産のあり方を考えられるようにする。

指導にあたっては、まず、スーパーマーケットの野菜売り場の写真から、同じ食品でも様々な産地や品種などがあり、値段も違うことを確認する。消費者にとっては選択の幅が広く、求めているものを入手できる環境であることに気付かせ、「これからの食料生産はどのように進めていけばよいか」という学習問題につなげる。次に食品の消費量や輸入量の変化を調べたり、様々な資料を読み取ったりすることで、日本の食料生産の問題点に気付かせる。本時では、輸入ができなくなった場合の食事例から食料生産の問題点を身近に感じさせ、食料生産を守るための取組を調べる。さらに、児童が毎日食べている学校給食を教材として用い、食料生産を日常の食事と関連付けて考えられるようにする。学校給食での取組を知ることにより、さらに考えを深め、自分たちの今後の生活へ活かそうとする意欲を高めたい。

(学習の系統)



3 児童の実態（男子16名 女子14名 計30名） 平成27年10月1日実施

(1) 給食は好きですか。

とても好き	23人 (77%)
まあまあ好き	4人 (13%)
あまり好きでない	2人 (7%)
嫌い	1人 (3%)

(2) 家庭で食品の産地について話題にすることはありますか。

ある	0人 (0%)
たまにある	15人 (50%)
あまりない	8人 (27%)
ない	7人 (23%)

(3) 食に関する問題についてのニュースや新聞記事を見たことがありますか。

見たことがある	17人 (57%)
見たことがない	13人 (43%)

→ どのようなニュースや新聞記事ですか。
 異物混入15、野菜の値上がり3、
 中国で落ちた肉を使用1、鶏インフルエンザ1、
 さんまが減っている1

(5) 食品を選ぶ時に大切だと思うことはなんですか。(複数回答)

	野菜や肉や魚	弁当や惣菜
栄養	27人	27人
新鮮さや賞味期限	26人	19人
量や大きさ	23人	20人
値段	22人	25人
味	21人	23人
産地	15人	13人
添加物が少ない	15人	13人
見た目	11人	16人
農薬が少ない	10人	9人
メーカーや銘柄	5人	7人

(6) 私たちが食べている食べ物のうち、日本で作られているものはどのくらいだと思いますか。

たくさん作られている	12人 (40%)
少し作られている	12人 (40%)
あまり作られていない	5人 (17%)
ほとんど作られていない	1人 (3%)

(7) 地産地消の意味やよさを知っていますか。

知っている	18人 (60%)
知らない	12人 (40%)

→ 地産地消のよいところは何かと思いますか。
 安心4、安全1、新鮮2、
 よくないものをいれているかどうかわかる1、
 輸入に頼らない1、お金がかからない1
 産地が自分の県1

<考察>

本学級では、給食を「好き」と答えた児童は90%いる。そこで、食料生産の学習に給食を教材として活用し、食育を取り入れることで、興味・関心が高まり、社会科学習に苦手意識のある児童も意欲的に取り組むことができると考えた。

しかし、家庭では食品の産地についてあまり話題にしていない。また、約40%の児童が食に関する問題についてのニュースや新聞記事を見たことがないと答えている。見たことがあると答えた児童も、その内容では、ほとんどが異物混入であり、具体的な内容ではなかった。このことから、食に関するニュースや新聞記事を、興味を持って見ている様子は伺えなく、食への関心や意識が低いと考えられる。

食品を選ぶ際には、野菜や肉や魚では栄養面、新鮮さや賞味期限が大切だと感じている児童が多く、弁当や惣菜では、栄養面や値段、味で選んでいる児童が多いことがわかる。どちらも産地や農薬、添加物の使用を気にしている児童は半数以下だった。本時の学習では、食品から得られる情報を実際に見ることにより、生産者の思いを知り、消費者として安全性や産地の点から食品を選ぶことの大切さを理解できるようにしたい。

40%の児童が、日常食べているものの多くが日本で作られていると答えている。様々な資料や輸入ができなくなった場合の食事例を提示し、輸入に頼っている日本の食料生産の現状を理解させたい。

児童は、「くらしを支える食料生産」の導入で行う給食食材の産地調べで、栄養教諭に本日の給食食材の産地について説明してもらい、「できるだけ地元の食材を使っていること」「少々値段が高くて国産品を選んでいること」等の話を聞いている。本単元でも栄養教諭から給食の取組を具体的に聞くことで、地産地消のよさを理解し、日常の食生活と結び付けて考えられるようになるだろう。

4 単元の見目標

食料の自給率の低下、食生活の変化、食料の安全性、環境への配慮など、今日の食料生産を取り巻く現状と問題について具体的に調べ、これからの食料生産のあり方について考えることができる。

5 単元の評価規準

社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用技能	社会的な事象についての知識・理解
我が国の食料生産の現状と未来について関心を持ち、自分の生活と食料生産とのかかわりから、これからの我が国の食料生産について意欲的に考えようとしている。	我が国の食料生産をめぐる問題について、食料自給率の低下や食の安全・安心、生産者と消費者などの観点をもとに考え、適切に表現している。	地図や統計などの資料を活用して、我が国の食料生産について必要な情報を集め、読み取るとともに、調べたことを整理してノートやその他の資料にまとめている。	様々な食料生産が国民の食生活を支えていることや、食料の中には外国から輸入しているものもあり、食料自給率の低下や食の安全性などの問題があることを理解している。

6 学習効果をも高めるための栄養教諭の手立ての工夫

- 大単元「わたしたちの生活と食料生産」の導入とまとめの学習で計画的に栄養教諭が関わり、児童が毎日食べている学校給食を教材として取り入れたことで、日本の食料生産の現状をより身近なこととして捉え、これからの食料生産を考える意欲が高められるのではないかと考えた。
- 児童の実態に沿って、視覚的に捉えられる資料を工夫することで、食材や産地などに関心を持ち学習に取り組むことができるのではないかと考えた。

7 指導計画（4時間扱い）

時	目標	学習活動	評価規準
1	様々な食料生産が国民の食生活を支えていることに気づき、資料から日本の食料生産を取り巻く問題について考え、学習問題をつくる。	○日常の食事に含まれる輸入品の割合や、日本の主な食料の自給率、主な国の自給率を資料から読み取る。 ○日本の食料生産が抱える課題について話し合い、学習問題をつくる。	○日本の食料生産の現状と未来に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】 ○食料生産について問題が起きている理由を予想し、学習問題を考え表現している。 【思考・判断・表現】

2	食生活の変化により、食料の多くを輸入に頼っていることに気づき、食料自給率を高めていくことの大切さを理解する。	○食生活がどのように変化してきたのか話し合う。 ○食料品の消費量の変化、輸入量の変化などの資料を読み取る。 ○食料品の輸入が増えることにより生じる問題点を話し合う。	○食生活の変化により輸入が増え、食料自給率の低下などの問題が生じていることを理解している。 【知識・理解】
3 本時	これからの食料生産のために、自分たちができることについて考える。	○食料自給率をあげるためにどのような工夫がされているか調べる。 ○学校給食の地産地消の取組を知る。 ○毎日の食生活の中で、実践できることを考える。	○自分の食生活を見直し、食料生産の発展のために自分ができることを考えている。 【関心・意欲・態度】
4	食料生産と環境との関連について調べ、環境とどのようにかかわっていくことが大切か考える。	○食料生産が環境に対して果たしている役割について調べ、図にまとめる。 ○安全・安心な食料の確保のためには環境とどのようにかかわっていくことが大切か考える。	○食料生産と環境のつながりに関心を持ち、安全・安心な食料を確保するための環境とのかかわり方を考えている。 【思考・判断・表現】

8 本時の指導

(1) 本時の目標

これからの食料生産のために、自分たちができることについて考える。

(2) 食育の視点

日常の食事と関連付けて我が国の食料事情を理解し、食材の産地に関心を持つとともに国産や地元産のよさに気付くことができる。
〈社会性〉〈食文化〉

(3) 展開 (3 / 4)

過程	学習内容と活動	教師の支援と留意点	資料・教具
導入	1 輸入がなくなった場合の食事例を見て、気付いたことを発表する。 ・おかずが少ない。 ・お肉が少ない。 ・パンがなくなってしまふ。 ・日本は輸入に頼っているのだな。 2 学習課題をつかむ。	○食事例を提示し、輸入の割合を取り去った場合、どのような食事になるかを視覚的に捉えさせる。 (T1、T2) ○前時までに資料やグラフから読み取ったことから日本の食料生産の問題点を想起させる。 (T1) ○輸入に頼っている現状を身近にとらえさせる。 (T1)	輸入がなくなった場合の食事例(パソコン) 食料自給率のグラフ 輸入量の変化のグラフ
展開	3 食料生産を守るためにどのような取組が行われているか、資料から調べ、発表する。 ・生産者はみんなが喜んでくれるものを作っている。 ・食品工場は、地元産の加工食品を作ろうとしている。	○消費者が安い外国産より国産を選ぶようになるための取組が必要であることを確認する。 (T1) ○輸入に頼らないためには誰ががんばらないといけないか考え、生産者、消費者の視点を挙げる。 (T1) ○資料より、国産のよさを広めたり高めたり	「いちばん身近な食べもの話」P15

今よりも輸入に頼らない食生活にするにはどうしたらよいでしょう。

<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店は、どこでとれたものか表示している。 ・レストランは、地元の新鮮な食材を使ったメニューを出している。 ・消費者は野菜や魚やごはんを食べるようにする。 <p>4 様々な食品の包装から取組の具体例を知り、食品の情報を調べてみる。</p> <p>5 学校給食の食材選びの工夫や地産地消の取組を知る。</p> <p>6 日頃の生活を振り返り、自分たちに何ができるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地を見て安全・安心なものを買いたい。 ・地元のものをたくさん食べる。 ・国産のものを選ぶ。 <p>7 学習のまとめをする。</p>	<p>している取組を調べ、ノートに書き出すよう指示する。(T1)</p> <p>○身近なものから多くの情報が得られることに気付かせる。(T1)</p> <p>○産地や生産者の情報が明確にわかることが国産のよさであり安全安心につながることを伝える。(T2)</p> <p>○今日の給食の食材の産地を提示し、千葉市産や千葉県産が多いことに気付かせる。(T2)</p> <p>○学校給食の食材選びの工夫を伝える。(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心、新鮮(産地表示や安全証明) ・地産地消の取組(安全・安心、新鮮、地域の活性化(五田保冬瓜給食)、流通経費) ・旬のものを使用 ・ごはんを主食とした献立、和食 <p>○栄養教諭の話や調べたことを参考にし、生産者と消費者のつながりを考える中で自分にできることを考えさせる。(T1)</p> <p>○日頃の食生活を振り返ることを助言し、多くの意見が出るよう支援する。(T2)</p> <p>◇自分の食生活を見直し、食料生産の発展のために自分ができることを考えることができる。【関心・意欲・態度】</p>	<p>資料集 食品の包装 スマートフォン 実物投影機</p> <p>給食の写真 産地カード</p> <p>産地証明、安全証明など 五田保冬瓜の実物</p>
<p>国産や地元の食材を選んで、食料自給率を高めていけば、今よりも輸入に頼らない食生活になる。</p>			

板書計画

<p>今よりも輸入に頼らない食生活にするにはどうしたらよいでしょう。</p>				<p>産地カード</p>
<p>輸入がなくなった場合の食事例</p>	<p>それぞれの立場での取組の資料</p>	<p>[生産者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>[消費者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<p>給食写真</p>	<p>給食の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>気付いたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		<p>まとめ</p>		